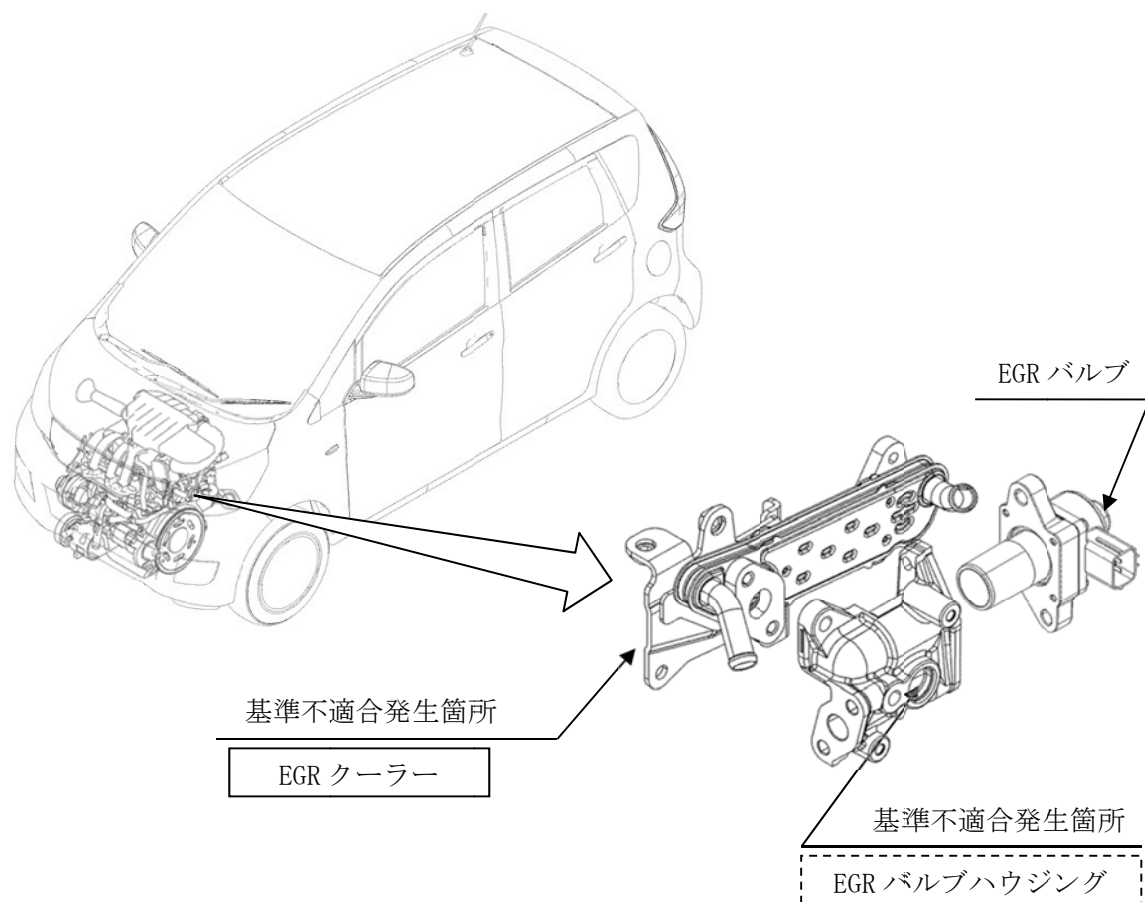


改善箇所説明図 ①



排気ガス再循環装置(EGR)の EGR クーラーおよび EGR バルブハウジングにおいて、一部の材質が不適切なため排気ガス凝縮水により腐食し、腐食片が EGR バルブに噛み込んだり、EGR バルブハウジングに穴あきが発生したりするものがある。そのため、燃焼不良となり、エンスト、再始動不能に至るおそれがある。

改善の内容

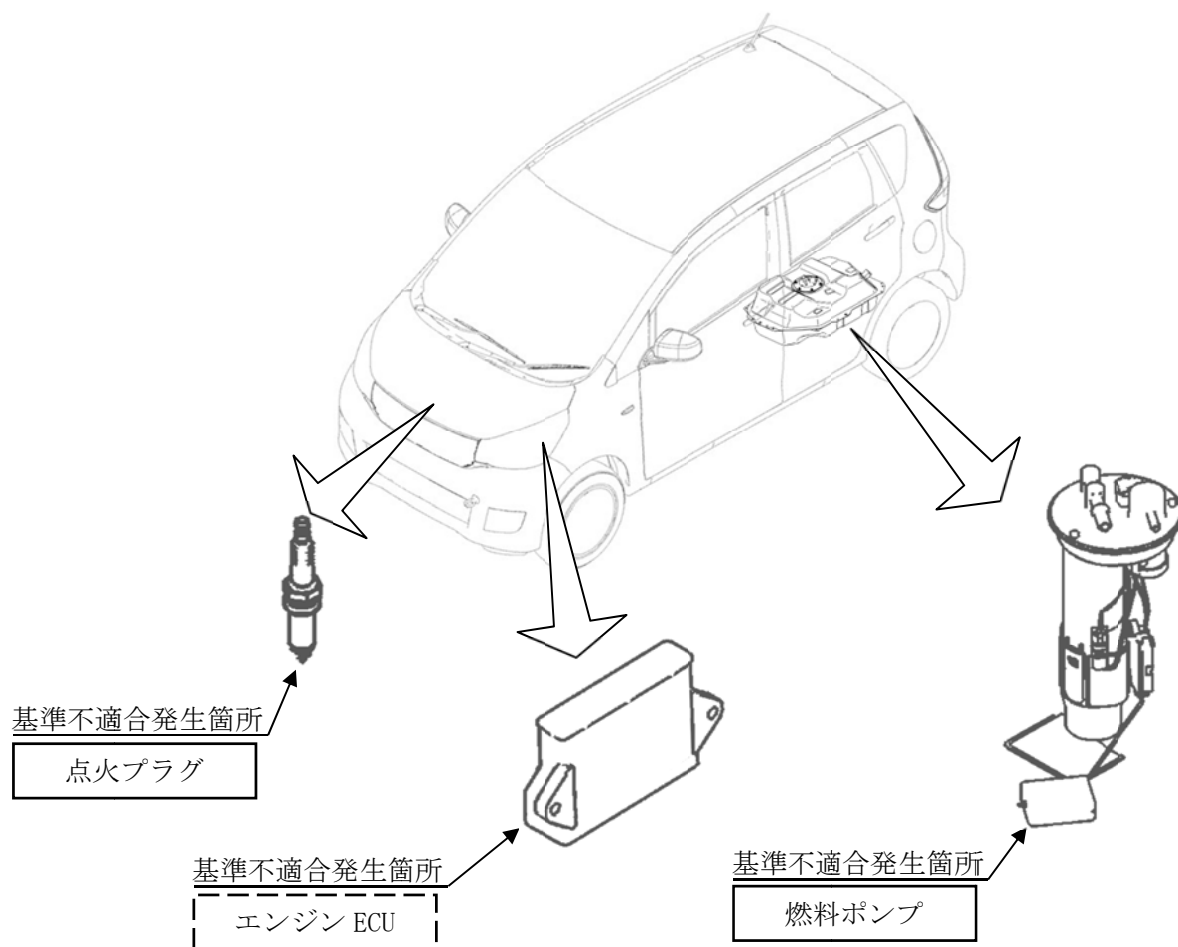
全車両、EGR クーラーを確認し、対策品に交換する。また、全車両、EGR バルブハウジングを対策品に交換する。

注：図中の 内は、確認、交換する部品を示す。

図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：運転者席側ドアチェッカーのヒンジにあるピン頭部に白又は黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図 ②



燃料ポンプにおいて、製造時の燃料流量の管理が不適切なため、燃料流量が少ないものがある。また、エンジンを制御するコントロールユニット(エンジン ECU)の制御プログラムが不適切なため、燃料噴射量が過剰となることがある。これらに加えて、点火プラグの仕様が不適切なため、点火プラグのくすぶりが発生し、始動時間が長くなったり、始動不能に至ったりするおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン ECU のプログラムを対策品に書き替える。また、車両の類別により燃料ポンプおよび点火プラグの改善が必要な場合は、燃料ポンプおよび点火プラグを確認し、燃料ポンプは良品に交換、点火プラグは仕様変更品に交換する。

注：図中の 内は、プログラムを書き替える部品を示す。

図中の 内は、確認、交換する部品を示す。

識別：運転者席側ドアチェッカーのヒンジにあるピン頭部に白又は黄色ペイントを塗布する。